



PRESS RELEASE

令和6年9月25日(水)

飛鳥★星まつり 2024 を開催します！



平素より国営飛鳥歴史公園の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

国営飛鳥歴史公園では、10月19日(土)、20日(日)に「飛鳥星まつり 2024」を開催します。国宝キトラ古墳壁画天文図は、2019年に科学的な分析に耐えうる本格的な星図として、天文学史上極めて重要であるとし、日本天文遺産に認定されました。国営飛鳥歴史公園では、日本天文遺産認定を記念して、キトラ古墳周辺地区を中心に、「飛鳥時代と宇宙、星」をテーマとした飛鳥星まつりを開催します。飛鳥の歴史と科学、芸術、手仕事と食を通して「星と人と四神(大地)が響き合う時間」を提供します。

つきましては、ご多忙中のことと存じますが、皆様には是非取材ならびに記事掲載のほど、よろしくお願いいたします。

=== イベント開催日時 ===

【日程】2024年10月19日(土)・20日(日)

【時間】10:00~15:30 ※20日 映画「銀鏡」、監督トークは18:00まで

【会場】国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区

【参加費】無料 ※一部有料

お問合せ先 国営飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター広報担当 伊藤・滝・東山

TEL 0744-54-2441 / FAX 0744-54-4633

〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538 <https://www.asuka-park.jp/>





● 19 日イベント ●

10:00~12:00 背守り手ぬぐい ワークショップ 【講師:ヤマツミ ワタツミ】

キトラの土を焙煎した染料で、飛鳥星まつりの手ぬぐいを作しましょう。四神を 1 つ選んで背守りも染めることができます。きっと青龍、朱雀、白虎、玄武があなたを守ってくれるでしょう。四神の型紙は飛鳥星まつりだけのお楽しみ♪

事前申込(じゃらんネット)

【会 場】四神の館内 体験学習室

【定 員】15名 (※9/21 申込4名)

【参加費】3,500円(基本の下地の染め代、材料費込み)

(オプション:四神型染め朱雀・青龍・白虎・玄武 各 1000 円)



10:00~10:45 星の獅子舞

民芸寺子屋さんが子供達がキトラの土で染めた星の布をまとめて、星の獅子舞になって、会場を練り歩きます。お獅子は、人の頭を噛んで邪気を食べてくれ、また「噛みつく」は「神が付く」という語呂合わせから、とても縁起が良いと言われています。国営飛鳥歴史公園 50 周年記念に、無病息災を願って、是非噛みつかれてください。

13:30~14:15 日本の祭りの風景

民芸寺子屋さんが日本各地の民俗芸能を披露。かつて様々な国の人々が集っていた古代の都飛鳥に各地のお祭りが集まってくるような風景をお楽しみください。

【会 場】四神の広場前舞台 ※雨天時:四神の館シアタールーム

14:45~15:30 明日香盆唄輪踊り

高松塚古墳が発見され、村中が喜んで作られた明日香盆唄。飛鳥の名所が盛りだくさんの唄です。その当時に作った、四神や北斗七星、女人像の藍染めの浴衣で踊り手、歌い手が登場。国営飛鳥歴史公園 50 周年を記念して、皆さんで楽しく踊りましょう♪

【会 場】四神の広場 ※雨天時:四神の館シアタールーム



10:00~15:00 キトラ星マルシェ

★自然な暮らし commu+cafe コリコック

・できたておむすび

★星降る谷の家 fufufu

・ガパオライス

・ドリンク

★モリヤ工房

・ヴィーガンスイーツ

・四神のパフェ

●20 日イベント●



10:00~12:00 海獣葡萄鏡の磨き方【講師:石谷 ^{いしたに} ヒロム】

古来の鏡磨きの技法「麻氣」を用いて鏡に水をまとわせ磨きます。そして今回はベンガラ土を使って仕上げます。

古代の鏡磨きを今に蘇らせる手仕事になると思います。是非一緒ください。

事前申込(じゃらんネット)

【会場】四神の館内 体験学習室

【定員】15名(※9/21申込11名)

【参加費】3,500円



13:00~14:30 シュタイナーのオイリュトミー

ワークショップ「星を動く」【講師:吾妻 ^{あずま} 春真彌 ^{はるまや}】

ルドルフ・シュタイナーが伝えた運動芸術です。星の動きを宮沢賢治さんの「星めぐりのうた」に合わせて動きます。



事前申込(じゃらんネット)

【会場】四神の広場 ※雨天時:四神の館シアタールーム

【定員】15名(※9/21申込9名)

【参加費】3,500円

15:00~ 映画「銀鏡」・赤阪監督トークイベント

日本の古層に秘められた星への祈りと、星のように生きる神楽の民を追ったドキュメンタリー。

事前申込(じゃらんネット)

【出演】量子学者 佐治 晴夫(さじ はるお)、銀鏡の人々

【会場】四神の館シアタールーム

【定員】40名(※9/21申込10名)

【参加費】3,500円



10:00~15:00 キトラ星マルシェ

★Café-NeKKO

- ・ヴィーガンプレート
- ・自家焙煎コーヒー

★季節の薬膳まつり香

- ・大和野菜の薬膳弁当

★モリヤ工房

- ・ヴィーガンスイーツ
- ・四神のパフェ

🌸 国営飛鳥歴史公園 開花情報（9/23 現在）

【石舞台地区】 開花場所はこちら⇒ <https://maps.app.goo.gl/teBzVAh1ghQMAMt47>



石舞台地区ではハギの花が見ごろを迎えます。



【高松塚周辺地区】 開花場所はこちら⇒ <https://maps.app.goo.gl/1vkXhvSXXQH2GWLp8>



公園館前プランター、聖徳中学校生徒が苗から育てたダンギク（段菊）が咲き始めました。



【甘檜丘地区】 開花場所はこちら⇒ <https://maps.app.goo.gl/YxVXHViQNTnX9Pb8>



コキア（ほうき草）は紅葉が進み、ただいま見頃です。概ね草丈 1m 近くまで育っています。今年度よりベンチを設置しました。



開花情報は公園 Facebook で発信しています。



10月19日(土)20日(日)11月24日(日)12月21日(土)冬至
国営飛鳥歴史公園キトラ古墳壁画体験館四神の館

星と人と四神
響き合う時間

飛鳥 星まつり ASUKA STAR FESTIVAL 2024

国営飛鳥歴史公園開園50周年記念

10月19日(土) 飛鳥星まつり背守り手ぬぐいワークショップ・
星の獅子舞・明日香盆唄輪踊り・キトラ星マルシェ

10月20日(日) 鏡師さんに教わる「海獣葡萄鏡」の磨き方・
シュタイナーのオイリュトミー「星を動く」・

映画「銀鏡 SHIROMI」×トークイベント・キトラ星マルシェ

11月24日(日) 音楽劇「星詠み人〜アサギマダラと天文図」

12月21日(土) 冬至「銀河鉄道の夜」& 星空観望会

KITORA TUMULUS

主催 国営飛鳥歴史公園
企画プロデュース むすび works



★ 国営飛鳥歴史公園 開園 50 周年記念 「飛鳥★星まつり 2024」 ★

キトラ古墳の石室内天井に描かれた天文図、日像、月像は 7 世紀末から 8 世紀初め頃に描かれたものです。約 360 個の恒星による 74 の星座が認識されているほか、内規、外規、黄道、赤道の 4 つの円が描かれています。この天文図の原図を作るための観測が行われた年代や観測地を推測する研究も進められ、この天文図の原案は紀元前 65 年～紀元 300 年前後に、北緯 38.4 度～33.9 度と、いずれも 1700～2000 年前の大陸で観測されたと推測されています。これらのことから、日本天文学会では、「キトラ古墳天井壁画は、古代における天文学の水準のみならず、アジア大陸から日本への科学知識や文化の流入を知る事が出来るものであり、天文図は科学的な分析に耐えうる本格的な星図として、天文学史上極めて重要と言う事が出来る。」とし、2019 年度の日本天文遺産に認定する事となりました。国営飛鳥歴史公園では、日本天文遺産認定を記念して、キトラ古墳周辺地区を中心に、「飛鳥時代と宇宙、星」をテーマにした飛鳥星まつりを開催。飛鳥の歴史と科学、芸術、手仕事と食を通して、「星と人と四神が響き合う時間」を、集う皆様と創り上げる事が叶えば幸いです。

★ workshop・映画・劇・コンサートお申し込み ★

国営飛鳥歴史公園 H.P. <https://www.asuka-park.jp>

* じゃらん net からお申込み下さい。

* キャンセルは 1 週間前までにお知らせ下さるよう、ご協力をお願い致します。

お問い合わせ：飛鳥管理センター TEL0744-54-2441



★ 第 33 回国宝キトラ古墳壁画公開 ★

10 月 12 日(土)～ 11 月 10 日(日)

* 閉室 10 月 23 日(水)・11 月 6 日(水)

天井「天文図」 * 事前申し込み

* 詳細は事務所ホームページをご覧ください。



★ キトラ・プラネタリウム ★

10 月 26 日(土)～11 月 4 日(月)



★ アクセス ★

電車：近鉄壱阪山駅から徒歩 15 分。

車：駐車場（無料）9:30～17:00

* 飛鳥星まつりの 17 時以降のイベントにご予約の方のみ、17 時以降も駐車場をご利用いただけます。

キトラ古墳壁画体験館 四神の館

〒634-0134

奈良県高市郡明日香村大字阿部山 67



10月19日(土) 飛鳥星まつり 2024

3ヶ月にわたる
飛鳥星まつりの
はじまりです。
おおいに楽しみ
ましょう

飛鳥
歴史公園
50周年
記念



10:00~12:00

飛鳥星まつり背守り手ぬぐい ワークショップ

講師：ヤマツミワタツミ

キトラの土を焙煎した染料で、飛鳥星まつりの手ぬぐいを作りましょう。四神を1つ選んで背守りも染める事が出来ます。きっと、青龍、朱雀、白虎、玄武があなたを守ってくれるでしょう。四神の型紙は飛鳥星まつりだけのお楽しみ♪

会場：体験学習室 定員：15名様
参加費：3500円 *事前申し込み

染料、手ぬぐい、飛鳥星まつり、小さな星の型染めは代金に含まれています。オプションで四神の型紙は1枚1000円で染める事が出来ます。



10:00~10:45

星の獅子舞

民芸寺子屋さんが、子供達がキトラの土で染めた星の布をまとして、星の獅子舞になって、飛鳥星まつりの会場を練り歩きます。お獅子は、人の頭を噛んで邪気を食べてくれ、また「噛みつく」は「神が付く」という語呂合わせから、とても縁起が良いと言われています。国営公園50周年記念に、無病息災を願って、是非噛みつかれて下さい。



13:30~14:15

日本の祭りの風景

民芸寺子屋さんが、日本各地の民俗芸能を飛鳥星まつりで披露。かつて様々な国の人々が集っていた古代の都飛鳥に、各地の祭りが集まってくるような風景を是非お楽しみ下さい。

会場：四神の広場前舞台
*雨天の時は四神の館シアタールーム



14:45~15:30

明日香盆唄輪踊り

高松塚古墳が発見され、村中が喜んで作られた明日香盆唄。飛鳥大仏、石舞台、飛鳥川など、飛鳥の名所が盛りだくさんの唄です。その当時に作った、四神や北斗七星、女人像の藍染めの浴衣で踊り手、歌い手が登場。国営飛鳥歴史公園開園50周年を記念して、皆さんで楽しく歌い踊りましょう♪

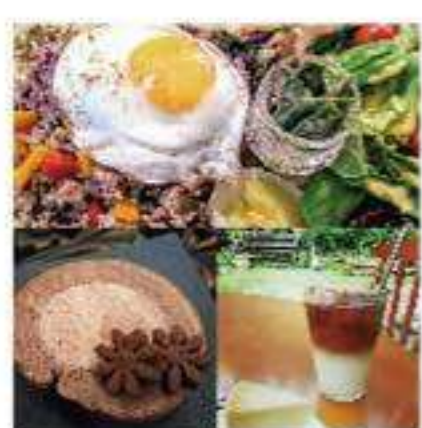
会場：四神の広場 *雨天の場合は四神の館シアタールーム



ーキトラ星マルシェー 10:00~15:00



**自然な暮らし
commu+cafe コリコック**
天理市の高原地域でからだところが喜ぶご飯を！と、おむすびと自然栽培のお茶、温かいお出汁でいただく出汁茶漬けをお届けします。



星降る谷の家 fufufu
室生の山の谷間にある気まぐれカフェ。お馴染みの美味しいガパオライスと無添加のおやつを、自家焙煎コーヒー、豆乳チャイや豆乳ココアと一緒に。



モリヤ工房
一口食べると旬のフルーツの風味が広がる、天然自然の宝物のように美しい、身体に優しいヴィーガンスイーツ。この日は、タルト、ジェラートに加え、四神のパフェも登場。



浴衣で
ご来場
大歓迎



10月20日(日) 映画「銀鏡 SHIROMI」

星と人を繋ぐ、銀鏡の神楽のドキュメンタリー映画

*ワークショップ、映画は
事前申し込みをお願い致します。

鏡師に教わる 四神の館鑄造 海獣葡萄鏡の磨き方 ワークショップ「磐長姫の鏡」 × シュタイナーの オイリュトミーワークショップ 「星を動く」



10:00~12:00 *事前申し込み
鏡師に教わる四神の館鑄造 海獣葡萄鏡の磨き方
ワークショップ「磐長姫の鏡」
講師:石谷ヒロム

鏡の語源は「かがひ」本来は自分の魂や霊(ひ)を輝かせる事で、不変の命の輝きだと言われています。
この日、上映される映画「銀鏡」の銀鏡神社の御祭神は磐長姫(いわながひめ)。大山祇命(おおやまつみのみこと)の娘で、妹の水花咲耶姫(このはなさくやひめ)と共に運命(うね)ににぎ(みこと)に嫁ぎますが、磐長姫は受け入れられませんでした。
鏡をのぞき込むと、そのみにくさに深く嘆き悲しみ、鏡を投げました。鏡は竜房山(りゅうぶやま)に留まり、昼夜光り輝き西方の村里を白く照らしました。そこは白見村と名付けられ、その鏡が銀鏡(白銅鏡)だった事から白見を銀鏡と表すようになったそうです。その鏡は神社のご神体でもあります。みにくいと、見にくい。しかしその分深い本質を映す鏡となります。
この本質の鏡を磨くには、古来の鏡磨きの技法「麻氣」を用いて、鏡に水をまわさせます。そして今回は仕上げに、壁面の時代からあるベンガラ(赤土)を使います。これこそ、古代の鏡磨きを今に蘇らせる手仕事になると思います。是非一緒に磨き下さい。
会場:体験学習室 定員:15名様 参加費:3500円



13:00~14:30 *事前申し込み
シュタイナーのオイリュトミーワークショップ
「星を動く」
講師:吾妻春真彌

オイリュトミーは、ギリシャ語で美しいリズムという意味。オーストリアやドイツで活動した哲学者、教育者、神秘思想家であるルドルフ・シュタイナーが創造した運動芸術、パフォーマンスです。講師に、東京からオイリュトミスト吾妻春真彌(あずまはるま)さんをお招きして、初めての方でも出来るオイリュトミーを教えてください。

シュタイナーによると、生まれる前の体は、星の軌道まで広がっていて、星は私達の中に存在しているらしいのです。オイリュトミーで内なる7つの惑星の動きを覚えてもらい、実際に動きながら、惑星から生まれた、人が生まれた時に発する母音の響きを動いてみましょう。
最後に、宮沢賢治さんの「星めぐりのうた」に合わせて動いてみます。
私達が生まれ持った、内なる星に出逢えるかもしれません。是非お楽しみに。
会場:四神の広場 *雨天時は四神の館シアタールーム 定員:15名様 参加費:3500円

一キトラ星マルシェー 10:00~15:00



カフェネッコ
CAFE-NeKKO
香り高い自家焙煎のオーガニックコーヒーとヴィーガンワッフル。農家さんから直接仕入れる美味しい自然栽培、有機野菜を使ったヴィーガンプレートは絶品。



季節の薬膳まつり香
(内藤麻衣子)
季節の養生と家庭薬膳教室主宰。国際薬膳師。葛木御蔵神社で薬膳ランチを提供。身土不二を大切に、季節の土地の恵みを使って、心と身体がはっと喜び整う薬膳を日々発信。薬膳ランチボックス、季節のお稲荷さんをご用意します。



モリヤ工房
一口食べると旬のフルーツの風味が広がる、天然自然の宝物のように美しい、身体に優しいヴィーガンスイーツ。この日は、タルト、ジェラートに加え、四神のパフェも登場。



星と人を繋ぐ、
銀鏡の神楽

縄文の気配が息づく山深い里に
大地の恵みとともに生き
星々に祈り舞う人々がいる

日本の古層に秘められた星への祈りと、
星のように生きる神楽の民を追ったドキュメンタリー

凍てつく冬の夜、太鼓と笛の音が山里から聞こえてくる。
夜風に揺れる星のもと、五百年以上前のいにしえより伝わる「星の神楽」を舞う人々がいる。
宮崎に伝わる銀鏡神楽。
夜を徹する神楽では、古代の精霊・宿神が舞い降り、太陽神アマテラスの再生を祝う。

映画に流れるふたつの時間

ひとつは、銀鏡に流れる悠久の時間。山の花や谷をつたう清らかな水。森にはまじりこみ、空には銀河の時間が流れている。そして、もうひとつは神楽の星に生きる人々の時間。原野奥の村で、柚子や唐辛子を産出加工まで担う会社をつくり、村に住み続けて神楽を守ろうとする人々がいる。未来を諦めず、今をひたむきに生きる銀鏡の暮らし。そこには自然に身をまかせた人間の魂と豊饒な営みの時間が流れている。そして、一年一度の銀鏡神楽の夜、このふたつの時間が邂逅する。銀鏡の人々の生き方は、私たちの命が悠久の時の一瞬であること、そして「今」ではなく千年先の世界を想像して生きることの大切さを教えてくれる。

銀鏡 SHIROMI 監修:赤坂友昭 撮影:古木洋平 録音:森英司 音楽:林正樹 映:松田光緒
2022年/日本/113分/カラー/16mm DCP 製作:746銀鏡SHIROMI 製作委員会

www.shiromi-movie.com

日本各地で絶賛上映中の
注目のドキュメンタリー映画
2024.10.20(日)15:00~
鑑賞申込み H.P. <https://www.asuka-park.jp> 主催:国営飛鳥歴史公園・企画プロデュース:むすび works

飛鳥星まつりで上映決定!
★上映券+赤坂監督トークイベント 3500円
会場:キトラ古墳壁画体験館四神の館シアタールーム 定員40名様
鑑賞申込み H.P. <https://www.asuka-park.jp> 主催:国営飛鳥歴史公園・企画プロデュース:むすび works